

## 補聴器 HB-A8DA/DB/DC/DD/DE

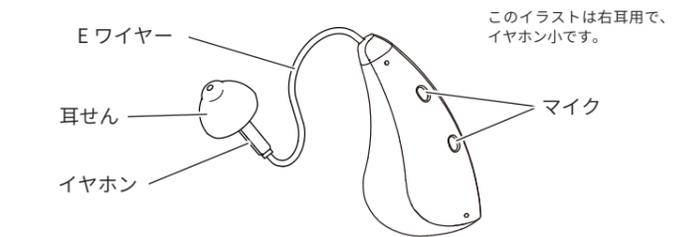
## 取扱説明書・安全上のご注意

Web サイトより HB-A8 共通取扱説明書がダウンロードできます。  
<https://www.rionet.jp/product/manual/rionet2/hba8/web>



- ご使用の前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 本書は適切に保管し、必要なときにご利用ください。
- 詳細は、Web の HB-A8 共通取扱説明書にありますので、必要なときはダウンロードしてご利用ください。

## 各部の名称



- 補聴器には型式、製造番号が記されています。

## 付属品

- ブラシ
- 添付文書
- 取扱説明書・安全上のご注意 (本書)
- 保証書

交換可能な別売品：耳せん、耳あか防止チップ G

## 別売品

- 充電ケース HX-A8
- リモコン RH-08
- テレビアダプター RH-07
- 補聴器クリーニング専用シート
- 耳あか防止チップ G キット
- 耳せん

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いにより生じるおそれがある内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。

絵表示の例

図の中に具体的な禁止内容が表記されることがあります。

 禁止内容	 指示内容
---	--

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

## ■ 植込み型医療機器をご使用の方へ

 **警告**

- 本器は電波を發します。植込み型医療機器 (植込み型心臓ペースメーカー、植込み型除細動器) を使用している方は、植込み部位に対して本器を密着させない。植込み型医療機器に異常が生じるおそれがあります。火災、故障の原因となります。

## ■ 一般的な取り扱いについて

 **警告**

- 火中への投入はしない。破裂するおそれがあります。
- 分解はしない。

 **注意**

- MRI 検査を行う場合は、補聴器を検査室に持ち込まない。補聴器の金属部が熱くなって火傷をするおそれがあります。また、磁気により補聴器が MRI 装置に吸着され、ケガをしたり、補聴器が故障したりする可能性があります。

充電ケースに金属などの異物を入れない。

火災、故障のおそれがあります。

大きな音で聞き続けけない。

大きな音で聞き続けたり、補聴器からハウリングのピーピー音が発生する状態で使用し続けたりすると聞こえを悪くするおそれがあります。

耳の形状に合わないオーダーイヤチップを使用しない。

オーダーイヤチップの形状が耳に合っていないと、ハウリングのピーピー音が発生する場合や、よく聞こえない場合があります。お買い求めのお店にご相談ください。

 他人に補聴器を貸さない。

耳を傷めるおそれがあります。

必ず耳せんを使用する。

耳せんが無い状態で挿入すると怪我をするおそれがあります。痛みや圧迫感が生じたら、直ちに装用を中止してください。なお、痛みが取れない場合は、医師にご相談ください。

耳せんがイヤホンに正しく取り付けられていることを確認する。

耳せんが正しく取り付けられていない場合、耳の中で外れるおそれがあります。耳せんが耳の中に残ってしまった場合は、医師にご相談ください。

子供またはその他誤って口に入れてしまいそうな方の届かないところに補聴器を保管する。

補聴器は飲み込むと危険です。この補聴器にはリチウムイオン電池が内蔵されています。

かゆみやかぶれに注意する。

体質によって、かゆみ・かぶれを生じるおそれがあります。皮膚に異常を感じたときは補聴器の使用を中止し、医師にご相談ください。

## ■ 電磁波を發する機器 (本器) の使用制限について

 **注意**

- 本器を使用する前に、電子機器または電磁波を發する機器の使用制限がないかどうか確認する。本器から発生する電波は、電子機器に影響を及ぼすおそれがあります。航空機では乗務員または航空会社の指示に従い、必要に応じて本器の電源を切る。

## 電波に関する注意事項

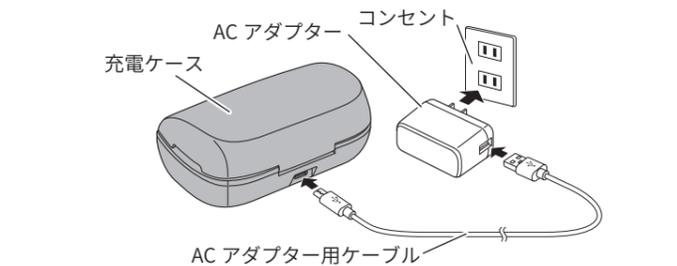
- 本器は電波法に基づく「2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム」の無線設備として、工事設計の認証を受けた部品を採用しています。
- 本器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が使用されています。
  - ① 本器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - ② 万一、本器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉 (混信など) が発生した場合には、本器の電源を切ってから、弊社営業部にご連絡ください。
  - ③ その他、本器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社営業部にご連絡ください。
- 本器を使用するときには無線局の免許は必要ありません。
- 本器は日本国内でのみ使用できます。
- 分解/改造などを行うと、法律で罰せられるおそれがあります。
- 本器が操作できないなどの場合は、電波の混信が疑われます。このような場合にも弊社営業部にご連絡ください。

<b>2.4XX1</b>	帯域	：2.4 GHz 帯
	変調方式	：その他の方式 (GFSK 方式)
	与干渉距離	：10 m 以下
	移動体識別装置の帯域の回避	：全帯域/回避不可

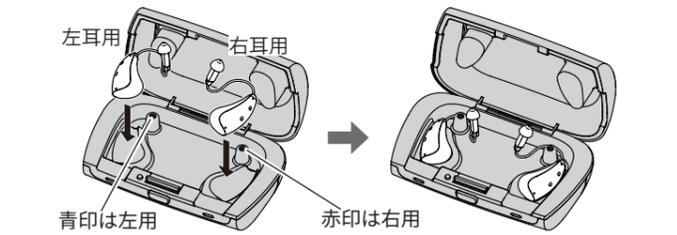
## 使用方法

準備

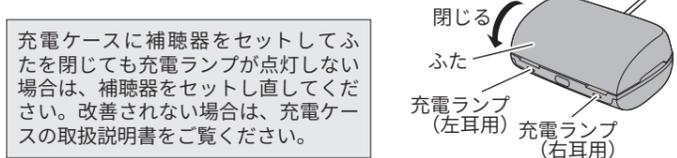
- ① 充電ケース (別売品) と充電ケースに付属されている AC アダプター、AC アダプター用ケーブルを組み立て、コンセントに接続します。



- ② 補聴器を充電ケースにセットします。正しくセットされると補聴器の電源が切れます。充電ケースの左側 (青印) に左耳用補聴器、右側 (赤印) に右耳用補聴器をセットしてください。



- ③ 充電ケースのふたを閉じると、充電が開始されます。充電中は、充電ランプがオレンジ色に点灯します。充電が完了すると、充電ランプが青色に点灯します。充電時間：最大約 4 時間

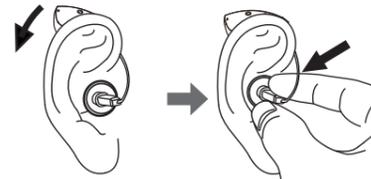


使用方法

- ① 充電ケースから補聴器を取り出すと補聴器の電源が入るので、すみやかに装用します。

耳せんの場合：

補聴器を耳にかけた後、イヤホン指でつまんで、イヤホンを耳あなに挿入します。

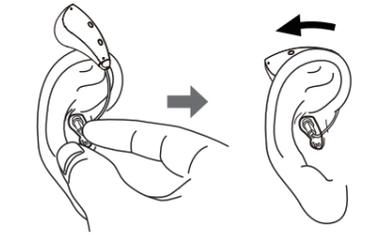


オーダーイヤチップの場合

(イヤホン小、中)：

オーダーイヤチップに付いてるリングワイヤー (ビーズ付き\*) を指でつまんで、イヤホンを耳あなに挿入した後に補聴器を耳にかけます。

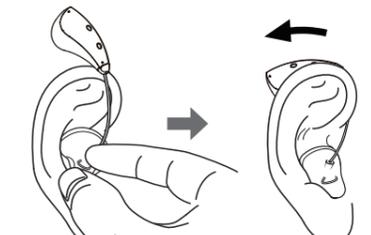
※ビーズは持ちやすくするための付いています。



オーダーイヤチップの場合

(イヤホン特大)：

オーダーイヤチップに付いてるリングワイヤーを指でつまんで、オーダーイヤチップを耳あなに挿入した後に補聴器を耳にかけます。



- ② リモコン (別売品) またはスマートコントロール 2 を使用することで、メモリーの切り替え、ボリューム操作が可能です。

- ③ 使用しないときは耳から外し、充電ケースに保管します。

## 使用上のご注意

<お使いになる前に>

- 補聴器は、お客様の聞こえを元に戻すものではありません。聞こえを補う医療機器です。大きすぎる音で聞いたり、耳に合わない使い方をしたりすると、耳を傷めるおそれがあります。
- 補聴器を使うときは、必ず聞こえの程度を病院やお買い求めのお店で調べてもらってください。補聴器の調整は聞こえの程度に合わせて、お買い求めのお店で調整してからお使いください。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れるに従って少しずつ音量を加減してお使いください。
- 補聴器はお客様の耳に合わせて調整されています。他人に補聴器を貸したり、他人の補聴器を借りたりするのはおやめください。耳を傷める場合や感染する場合があります。
- 耳の治療をされている方、治療したことのある方は、耳鼻咽喉科医師にご相談の上お使いください。
- 子供の場合は、難聴の度合を調べにくいので、必ず耳鼻咽喉科医師の指導を受けてからお使いください。
- 快適にお使いいただくために、お使いになる前には、耳を清潔にしてください。
- 補聴器やオーダーイヤチップは外観の点検を行ってから装用してください。ひび、傷が入った補聴器やオーダーイヤチップは使用しないでください。お買い求めのお店で点検修理を行ってください。万一、装用中に補聴器やオーダーイヤチップが破損した場合は、無理して取り出さずに耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

<使用の中止>

- 以下のような症状が現れた場合は、補聴器の使用を中止し、すぐに医師またはお買い求めのお店にご相談ください。
- 補聴器が接する部分にかぶれや湿疹ができたとき。この補聴器の皮膚に接する部分には、炎症を起こしにくい材料を使用していますが、体質によってはまれにかぶれや湿疹を生じるおそれがあります。
  - 使用中に耳だれが生じたり、何らかの事情で耳の治療が必要になったりしたとき。
  - 以前に比べ、急に耳の聞こえが悪くなったと思われるとき。
  - めまいや頭痛が生じたとき。
  - 耳に痛みが生じたとき。
  - 耳鳴りが生じたとき。

<取り扱い・保管>

- 補聴器の着脱時は、落とさないように注意してください。補聴器の着脱は、畳やじゅうたんなど柔らかい敷物の上で、座って、落ちていて行ってください。万一、補聴器を落として破損した場合はご使用を中止し、お買い求めのお店にご相談ください。また、補聴器を充電ケースに入れた状態で落とすと、充電ケースにセットした補聴器が外れるおそれがあります。落とした際は、補聴器をセットし直してください。
- 補聴器装用時にヘアスプレーや香水などを使用しないでください。補聴器が故障するおそれがあります。
- 内部は特に精巧に作られています。針、ピン、ペン先、楊枝、爪の先などでつついたり、差し込んだりしないでください。
- 補聴器は、強い磁気を帯びたものに接触すると、故障するおそれがあります。強い磁気を帯びたものを近づけないでください。
- 補聴器は濡れると故障するおそれがあります。取り扱いには必ず乾いた手で行ってください。入浴時、洗顔時は外し、濡れたテーブルの上などに不用意に置かないようにしてください。突然の雨や台風のときも注意してください。
- 万一、水の中に落としてしまった場合は応急処置をします。まず乾いた布で補聴器の外側の水分をよく拭き取ります。乾いたタオルなどのの上のせ、水分が切れるようにしばらくおいて乾燥させます。以上が応急処置ですが、できるだけ早くお買い求めのお店に点検を依頼してください。電子レンジ、食器乾燥機、ドライヤーなどで乾燥させると、補聴器が故障するおそれがあります。
- 周辺の温度変化が激しいと内部結露によって故障するおそれがあります。
- 補聴器の電源を入/切する際には、必ず充電ケースで行ってください。
- 補聴器は、子供またはその他誤って口に入れてしまいそうな方が届かないところに保管してください。万一、飲み込んでしまったときは、健康被害のおそれがありますので直ちに医師にご相談ください。

応急処置方法などについては、以下の (公財) 日本中毒情報センターにご相談ください (ただし通話料は相談者の負担)。  
 ・つくば中毒 110 番 TEL 029-852-9999 24 時間年中無休  
 ・大阪中毒 110 番 TEL 072-727-2499 24 時間年中無休

- ペットがじゃれて遊んだり、かじったりして、補聴器を壊すおそれがあります。ペットのいるご家庭では注意してください。
- 補聴器はリモコン/スマートコントロール 2 それぞれとペアリングできますが、同時には接続できません。

- 本器は2.4GHz帯の周波数を使用します。この周波数帯では、さまざまな機器が使用されています。場合によっては、他の機器の影響を受けて通信距離が短くなったり、通信が切断したりします。本器の使用に支障がある場合は、周囲でお使いのBluetooth® 機器、無線LAN 機器のいずれかの使用を中止してください。
- 本器は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 本器は専用の充電ケース（別売品 HX-A8）を使って充電してください。異なる機器で充電すると、補聴器内部の充電電池が発熱、発火、破裂するおそれがあります。
- 補聴器にアルコール類が付着した状態で保管しないでください。また、アルコール類を含んだ紙や布と一緒に、補聴器を保管しないでください。故障するおそれがあります。
- 診断・治療の種類により補聴器に悪影響を与えるおそれがあります。CT などX線を使用する検査、マイクロ波治療器など電磁波を利用する機器および、放射線による治療などを行う際は、医師に補聴器を外すかどうかお尋ねください。なおMRI 検査を行う場合は、補聴器を検査室に持ち込まないでください。
- ストーブのそばや直射日光の当たる場所など温度の高い所、浴室、加湿器のそばなど湿気の多い所には置かないでください。また、真夏の車の中なども閉め切っていると高温になり、補聴器が故障するおそれがあります。
- お買い求めのお店に修理を依頼してください。ご自身では絶対に修理しないでください。

<免責事項>

- 地震・雷・風水害および火災、第三者による行為その他の事故、お客様の故意または過失誤用、その他異常な条件での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本器の使用または使用不能から生じる記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断などの付随的な損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。

<廃棄するときのお願い>

- 補聴器の廃棄方法は、お住まいの自治体へお問い合わせください。この補聴器にはリチウムイオン電池が内蔵されています。

工事設計認証	
工事設計認証番号	
HB-A8DA/DB/DC/DD/DE	  001-A20409

この補聴器は工事設計認証を受けています。本体に特定無線設備を表示するスペースが確保できないため、取扱説明書・安全上のご注意（本書）に技適マークを記載しています。

## 適応難聴

適応難聴：軽度・中等度・高度・重度、伝音・感音・混合性

## 輸送や保管に関する環境条件

・温度：－10～45℃
　・湿度：20～85％（ただし結露のないこと）
直射日光が当たる場所を避け、保管すること。

## 電撃保護

内部電源機器



## 仕様

寸法	40.7 × 18.2 × 9.0 mm	
質量	約 3.2 g (小)、約 3.5 g (中)、約 6.0 g 以下 (特大)	
内蔵充電電池	リチウムイオン電池：DC 3.7V	
充電時間	最大約 4 時間*	
連続使用時間	通常	約 34 時間 (小)*、約 36 時間 (中)*、約 33 時間 (特大)*
	ストリーミング時	約 16 時間 (小)*、約 16 時間 (中)*、約 16 時間 (特大)*

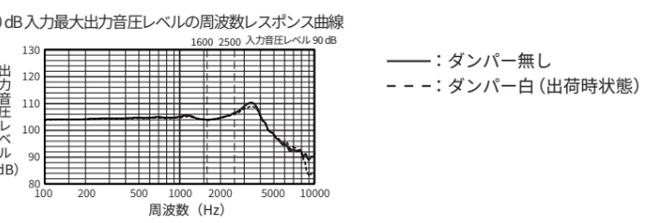
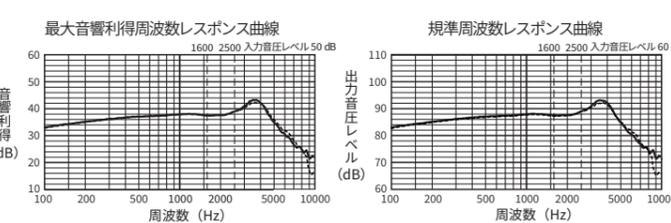
※ 新品の充電電池の場合

()内はイヤホンの大きさ

### イヤホン小 JIS C 5512:2015 で表示

項目		公称値	〔許容差〕
最大音響利得	HFA	38 dB	〔±5 dB〕
	ピーク値	44 dB	〔+3 dB 以下〕
90 dB 入力最大出力音圧レベル	HFA	105 dB	〔±4 dB〕
	ピーク値	110 dB	〔+3 dB 以下〕
等価入力雑音レベル		27 dB	〔+3 dB 以下〕
全高調波ひずみ	500 Hz	1%	〔+3%以下〕
	800 Hz	1%	〔+3%以下〕
	1600 Hz	1%	〔+3%以下〕

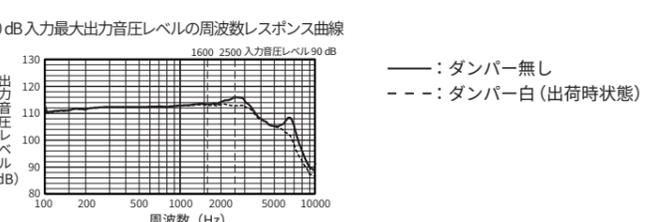
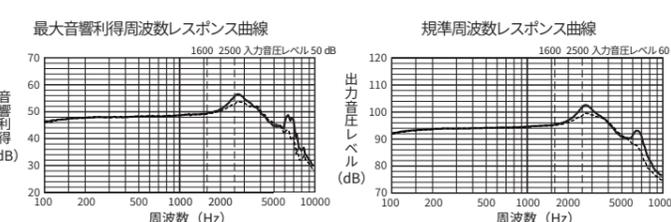
その他の技術的データは、テクニカルインフォメーション（販売店向け資料）に記載されています。



### イヤホン中 JIS C 5512:2015 で表示

項目		公称値	〔許容差〕
最大音響利得	HFA	51 dB	〔±5 dB〕
	ピーク値	57 dB	〔+3 dB 以下〕
90 dB 入力最大出力音圧レベル	HFA	114 dB	〔±4 dB〕
	ピーク値	116 dB	〔+3 dB 以下〕
等価入力雑音レベル		27 dB	〔+3 dB 以下〕
全高調波ひずみ	500 Hz	1%	〔+3%以下〕
	800 Hz	1%	〔+3%以下〕
	1600 Hz	1%	〔+3%以下〕

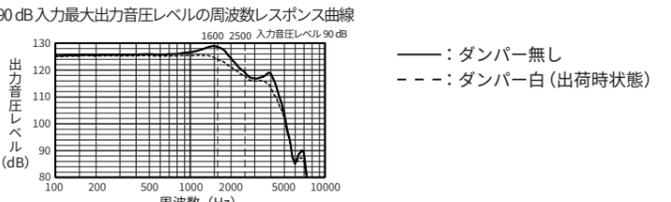
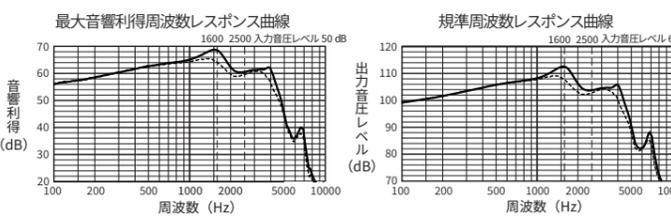
その他の技術的データは、テクニカルインフォメーション（販売店向け資料）に記載されています。



### イヤホン特大 JIS C 5512:2015 で表示

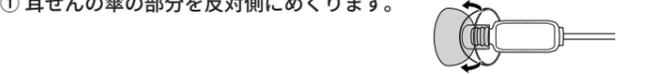
項目		公称値	〔許容差〕
最大音響利得	HFA	65 dB	〔±5 dB〕
	ピーク値	69 dB	〔+3 dB 以下〕
90 dB 入力最大出力音圧レベル	HFA	125 dB	〔±4 dB〕
	ピーク値	129 dB	〔+3 dB 以下〕
等価入力雑音レベル		26 dB	〔+3 dB 以下〕
全高調波ひずみ	500 Hz	1%	〔+3%以下〕
	800 Hz	1%	〔+3%以下〕
	1600 Hz	1%	〔+3%以下〕

その他の技術的データは、テクニカルインフォメーション（販売店向け資料）に記載されています。

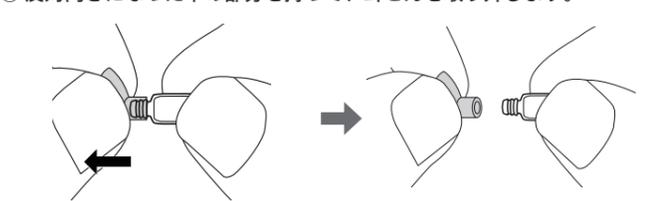


## 耳せんの取り外し方

① 耳せんの傘の部分を反対側にめくります。

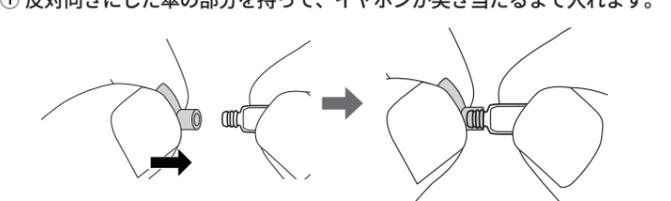


② 反対向きになった傘の部分を持って、耳せんを取り外します。



## 耳せんの取り付け方

① 反対向きにした傘の部分を持って、イヤホンが突き当たるまで入れます。



② 耳せんの傘部分を元に戻し、耳せんが簡単に抜けないことを確認します。



- イヤホンに取り付け可能な耳せんは、使用環境によっては外れやすくなる場合があります。耳せんを軽く引っ張って、外れやすくなっていないかを確認してください。
- 取り付けがゆるい場合は、新品と交換してください。3か月ごとの確認と6か月ごとの交換をお勧めします。変色したり、硬くなったりした場合も交換してください。
- 耳せんが正しく取り付けられていないと、耳せんが外れて、耳の中に残るおそれがあります。耳せんが耳の中に残ってしまった場合は、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

## お手入れ

- 補聴器を柔らかい布で乾拭きしてください。
- 耳せんは消耗品です。3か月ごとの確認と6か月ごとの交換をお勧めします。変色したり、硬くなったりした場合も交換してください。交換の際は、「耳せんの取り外し方」、「耳せんの取り付け方」を参考にしてください。
- オーダーイヤチップをお使いの際は、音口とその付近のベントの溝または穴が、耳あかなどで汚れたり詰まったりしていないことを確認し、ご使用後は、付属のブラシで掃除してください。

手順は、Web の HB-A8 共通取扱説明書をご覧ください。

## 補聴器おぼえがき

購入年月日
購入店名
電話
担当者
補聴器製造番号 (右)：
補聴器製造番号 (左)：

## 調整・修理・点検の記録

日付	内容
- -	
- -	
- -	
- -	
- -	

## お願い

万一、修理が必要になりましたらお買い求めのお店に修理を依頼してください。ご自身では絶対に修理しないでください。使い方、お手入れ、その他に関して、ご不明な点がございましたら、お買い求めのお店にご相談ください。

問題がなくても、1年に1度はお買い求めのお店で点検・調整をおすすめします。

## 商標について

- 本書中の会社名、商品名は、一般的に各社の登録商標または商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、リオン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。



医療機器認証番号は、添付文書および外箱に表示してあります。販売名：補聴器 HB-A8DA／補聴器 HB-A8DB／補聴器 HB-A8DC／補聴器 HB-A8DD／補聴器 HB-A8DE

製造販売元

**リオン株式会社**

https://www.rion.co.jp/

本社・営業部

〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41  
リオネット補聴器お客様コールセンター  
フリーダイヤル 0120-2933-76  
受付時間：9:00～21:00